

安全データシート

作成: 2005年12月26日
改訂: 2024年 5月22日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : KF075-05
製品名 : エコシヨット
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3823-6830
緊急連絡先 : 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
健康に対する有害性 皮膚感作性 : 区分1

上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」。

GHSラベル要素
絵表示



注意喚起語 警告

危険有害性情報

- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き

【安全対策】

- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急処置】

- ・皮膚に付着した場合は、多量の水で洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。
- ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診察/手当を受けること。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名/一般名: Bacillus subtilis D747/一般名: バチルス・ズブチルスD747

成分及び含有量: バチルス・ズブチルスD747株 (生芽胞) 5×10^{10} cfu/g (cfu/g: 1g当たりのコロニー数)
<その他> 鋳物質微粉 界面活性剤 等

化学式： —

官報公示整理番号： 化審法 —
安衛法 —

4. 応急措置

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹼を使って洗浄する。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

5. 火災時の措置

消火方法：初期の消火には粉末、不活性ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

適切な消火剤：水、強化液、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器

使ってはならない消火剤：情報なし

消火活動上の注意：燃焼又は高温により有毒なガス（窒素酸化物等）が生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には保護具（8. ばく露防止及び保護措置欄参照）を着用し、飛沫等が皮膚に付着しないようにする。

環境に対する注意事項：環境への影響は小さいが、流出した製品が河川等に排出されないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。真空掃除機で吸い取るなど粉じんが飛散しない方法で取り除く。残りは大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意：取り扱いには換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにする。皮膚又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。使用後の空容器は、一定の場所を定めて集積し、廃棄上の注意に従い処分する。

火災・爆発の防止：通常の保管方法で問題無し。

保管上の注意：直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：鉍物性粉じん $E = 3.0 / (1.19Q + 1)$

E：管理濃度 (mg/m³) Q：当該粉じんの遊離けい酸含有率 (%)

(作業環境評価基準 平成21年厚生労働省告示第195号 平成21年3月31日)

許容濃度：鉍物質微粉(第3種粉じん) 総粉じん 8 mg/m³、吸入性粉じん 2 mg/m³ (日本産業衛生学会2023年度)

設備対策：取り扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用する。取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための施設を設ける。

保護具 呼吸用保護具：防じんマスク (例；JIS T8151に適合する防じんマスク等)

保護手袋：ゴム手袋

保護眼鏡：側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型

保護衣：作業着、帽子、保護服等

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 淡褐色水和性細粒及び微粒
臭い	: データなし
pH (100倍希釈液)	: 6.8(参考値)
融点/凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限及び爆発限界上限/可燃範囲	: データなし
相対ガス密度	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 0.69(参考値)
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数(log値)	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子性状	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の保管環境下で安定
化学的安定性	: データなし
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: ラット LD ₅₀ >1 × 10 ⁸ mg/kg (バチルス・ズブチルスの試験成績)
急性毒性(経皮)	: ラット LD ₅₀ 2,000 mg/匹 以上
急性毒性(吸入:蒸気)	: データなし
急性毒性(吸入:ミスト)	: ラット LD ₅₀ >1 × 10 ⁸ mg/kg (経気道投与、バチルス・ズブチルスの試験成績)
皮膚腐食性/刺激性	: ウサギ 全動物にスコア1の紅斑が認められたが、48時間後に回復したことから、 区分に該当しないとした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: ウサギ 全動物に角膜の部分的な損傷、結膜発赤および結膜浮腫が認められた が、平均スコアは1未満であり、48時間後には回復したことから区分に該 当しないとした。
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: モルモット 感作性あり
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性 魚	: (コイ)LC ₅₀	8.10 × 10 ¹⁰ cfu/l(30 日)	(バチルス・ズブチリス)
甲殻類	: (オオミジンコ)EC ₅₀	>2.30 × 10 ¹⁰ cfu/l(21 日)	(バチルス・ズブチリス)
藻類	: EC ₅₀	>1 × 10 ⁶ cfu/l (72時間)	(バチルス・ズブチリス)
残留性・分解性	: 情報なし		
生体蓄積性	: 情報なし		
土壤中の移動性	: 情報なし		
オゾン層への有害性	: 情報なし		
その他	: 通常の使用方法で問題は無い。		

1 3. 廃棄上の注意

必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきる。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

1 4. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。車輦、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類 : 非該当

国連番号 : 非該当

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

陸上規制情報 : 道路法、消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法律の規定に従う。

緊急時応急措置指針番号 : 171

1 5. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第21555号

消防法 : 非該当

労働安全衛生法

粉じん障害防止規則 : 別表第1 第11項 該当

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 非該当

毒物及び劇物取締法 : 非該当

1 6. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献 :
- 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
 - 2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
 - 3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会
 - 4) GHS文書 改訂第6版(2015年)

作成部署以外の連絡先

(財団法人) 日本中毒情報センター

大 阪 (年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話	072-726-9923
つくば(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。